

山形の母なる川

vol.27

平成23年 10月25日

最上川



倫理経営企業の素顔

第4回 米沢市倫理法人会 株式会社 エフ・シー・エス

写真は腰越社長(右)と宮下部長(左)

目次

鈴木隆一会長 挨拶……………2	研修委員会より……………7	倫理を学んで……………15
設立20周年記念行事……………4	平成24年度単会四役のご紹介……………8	酒田市に特別行動旗……………16
辞令交付式……………6	倫理経営企業の素顔(第4回)……………10	倫理ライセンス17000認証(秋山鉄工様)……………16
平成24年度県役員のご紹介……………7	単会トピックス……………13	編集後記……………16



社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

希望の明日へ

山形県倫理法人会 会長 鈴木隆一

1. 設立20周年、未来への誓い



秋たけなわの10月7日、待望の「山形県倫理法人会設立20周年記念式典」、「特別記念講演会」、「1500社達成祝賀会」が開催され、県内各地から会員約200名が出席しました。式典で市川昭男山形市長、宮城県倫理法人会 田中裕人相談役よりご祝辞を賜り、(社)倫理研究所 荒木良仁北海道・東北方面長が式辞を述べられました。記念講演会では丸山敏秋理事長にご講演をいただき、祝賀会は吉村美栄子山形県知事、清野伸昭山形県商工会議所連合会会長にご祝辞、また乾杯のご発声を長谷川吉茂山形銀行頭取より賜りました。ご出席のみなさまから祝福と激励の言葉を頂戴し、お蔭様で私たちは喜びと共に未来への決意を固めることができました。

「歴史とは、人の心の連なりである」という言葉があります。設立20周年を機に私たちは会員数1500社達成の原動力となった諸先輩の長年のご努力に深甚な敬意と感謝の意を表します。「山形の人みな幸せになるように、山形らしく活動しよう」との先人の熱き思いを今一度しっかりと受け止めます。

そして、3・11東日本大震災を経た「現在」

を見つめ、さらに大震災から復旧復興した後も決してバラ色ではない日本の「未来」もしっかり見据えます。

原発問題とエネルギー問題、人口減少と少子高齢化、経済の縮小と財政悪化、停滞と苦境、そして倫理・道徳の衰退。そんな未来がもっと明るくなるように、未来の子供たちが幸せになるように、純粹倫理の実践と倫理経営の実現に努めます。同じ志を持つ仲間を増やしいっしょに働き、喜びを分かち合います。希望とは人から与えられるものではなく、自ら創りだすもの。未来の姿を思い描き、それを実現したいと心から願う時、希望は生まれます。希望を実現するために数字の目標を掲げる時、勇気が生まれます。

山形県倫理法人会は設立20周年を期して「希望」と「勇氣」を胸に日本創生の新たな活動を開始します。

2. 山形に新しい風、「山形市中央」誕生



9月28日、山形市中央倫理法人会が見事に設立されました。これも偏に伊藤明彦設立実行委員長をはじめ実行委員の方々のご尽力、新会員のみなさんの情熱の賜物と深く敬意を表します。山形市中央倫理法人会の設立は、

私たちの希望と勇氣が生み出した日本創生の最初の成果だと思えます。

振り返れば7月6日に設立発起人会、7月13日に設立実行委員会第一回会議、そして第一号の入会が8月初旬と、掛け声とは裏腹にスピード感に乏しい初動となりました。その後も花笠まつり、お盆休み、山形市長選挙などで活動の中断があり、50社の壁、60社の壁がなかなか越えられませんでした。しかし、そんな苦しい時期に伊藤明彦実行委員長が「私たちは倫理法人会で何を学んでいるのか？約束を守ろう、何が何でも目標を達成しよう！」と強いリーダーシップを発揮されました。また、毎日午前10時半から定例会議を開催し、ホワイトボードに手書きした新入会員候補社進捗一覧表を見ながらみんな話しかうようになり、それからチームの心がまとまり壁を乗り越えることができました。

結局、関係者が望むとおりに設立のドラマは進行したのです。苦しみからの解放と歓喜の爆発という主題で「終盤追い込み型」の筋書きが描かれ、そのとおりドラマは展開しました。次の新単会設立運動のための「良き先例」とはなりません、今回私たちは貴重な教訓を学び成長することができたと思います。

設立とはスタート台に立ったということ。布施富将会長をはじめ山形市中央のみなさまの今後のご活躍と会のご発展を心から祈念申し上げます。

3. 平成23年度の成果 健闘を讃えて

第一に、期首の平成23年9月1日に1364社でスタートした会員数が「8月3日、1450社」の目標を達成することができました。しかも全単会が会員100社以上となり、「資格割れ単会ゼロ」の目標も同時に達成できたことはこの上ない大きな喜びです。

第二にブナ文化フォーラムや富士高原研修所の経営者倫理セミナーの受講、会報「最上川」発行などの広報活動、朝礼コンテスト、女性委員会・青年委員会の各種講演会などの諸事業が成功したこと。

第三に各単会の役員朝礼やモーニングセミナーの質が大きく向上したこと。

第四に県と単会、単会と単会の協力関係がより緊密になったこと。

第五に大震災後、県と全単会が義援・支援活動を行ったことが挙げられます。

私はいつもみなさんのがんばりに感動していました。今こそお一人お一人の健闘を讃えたいと思います。

4. 平成24年度の理念と方針、新目標

この9月にスタートした平成24年度は「日

本創生の仕事をしよう。」を理念に、「希望を創ろう、朝の達人になろう。」をスローガンに掲げ、壊れかけた日本を創造的に再生する日本創生の仕事をこの山形県から始めます。

その重点テーマの第一が山形市中央倫理法



丸山理事長と日本創生を誓う鈴木会長
(この写真は、新聞広告に使われました)

人会の設立です。9月28日に見事に設立し、目標の「10月7日、1500社突破」の原動力となりました。第二に新目標「来年8月3日、山形県1600社」の達成、第三に退会防止活動の強化、第四にモーニングセミナーと役員朝礼のレベルアップ、第五に役員の育成、第六に活力朝礼の普及を平成24年度の重点テーマとして掲げました。

山形県倫理法人会は県内各単位倫理法人会の長期的発展と会員の成長に役立つ活動を行うことを使命としています。ですから困ったことがあったら相談してください。知恵を絞り解決策を考え、汗をかいて実現します。

5. 希望の明日へ 新たなチャレンジを

「伝統とは永遠の革新である」という言葉があります。私たちは基本的に忠実であると共に20周年を機に新たな活動にチャレンジし、時代の変化に合わせ、私たちの成長に合わせて倫理法人会の活動の幅を広げていきたいと思っています。また、余計なものをそぎ落とすまいます。みなさんと共に10年後の倫理法人会のあるべき姿、ありたい自分を思い描き、希望の明日を切り拓きましょう。

むすびに、「倫理はうれしい、普及は楽しい、ありがとう、私は幸せです」と実感しながらいつもみなさんが喜んで働けますように、心から祈念申し上げます。

第7回会員大会

設立20周年記念式典並びに 1500社達成祝賀会

10月7日に多数のご来賓、隣県を含む大勢の倫友が集い、第7回会員大会、設立20周年記念式典並びに1500社達成祝賀会がパレスグラントールにて厳かに開催されました。



第7回会員大会

会員大会では、晋道幹事長より平成23年度事業報告と平成24年度事業計画、天口事務長より平成23年度決算報告と平成24年度予算報告が行われました。続いて、7委員会の委員長が登壇し、各委員会の方針を発表いたしました。

設立20周年記念式典

厳かな雰囲気の中、設立20周年記念式典を執り行いました。伊藤明彦副会長による経過報告は、山形県倫理法人会の20年のあゆみを総括した、15分にわたる大変素晴らしい演説でした。続いて、式辞を北海道・東北方面荒木良仁方面長より、ご祝辞を市川昭男山形市長、田中裕人宮城県倫理法人会相談役・(社)倫理研究所理事から賜りました。それを受けて、県内はもとより隣県からも多くの来賓が来てくださったことと、20年間この会を守り育ててきた役員の方々と、倫友の皆さまへの感謝と御礼の言葉を鈴木会長が述べられました。

特別記念講演

鈴木会長の講師紹介の後に、設立20周年と1500社達成を記念して、(社)倫理研究所丸山敏秋理事長より「心眼をひらくー見えない脅威に立ち向かいながら」というテーマで講演をしていただきました。



山形県倫理法人会 設立20周年記念式典・1500社達成祝賀会

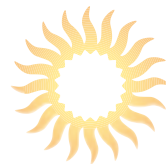


1500社達成祝賀会

祝賀会に先立ち、10周年の時と同じように来賓の皆さまと会の代表の皆さまと記念撮影をいたしました。100名を超える方々がひな壇に整然と並ばれる中、祝賀会に駆けつけて来られる県知事をしばしお待ちしておりました。素敵な殿方がたくさんおられたようで、私たちのために知事がお化粧に時間をかけてくださっているのでは？もしそうだとしたらこれは嬉しいことだと終始笑顔。知事が来場されると拍手が巻き起こり知事も照れていらっしゃるやいました。そこにさらに遅れてもう一人の来賓が入場され、驚かれたようであたふたされて大笑い。楽しい記念撮影になりました。

1500社達成祝賀会では、吉村美栄子山形県知事、清野伸昭山形県商工会議所連合会会長からご祝辞を賜り、中村恒一県相談役がお礼の言葉を述べられました。丸山理事長から20周年と1500社達成記念の目録の贈呈があり、長谷川吉茂(株)山形銀行頭取の乾杯のご発声で祝宴がスタート。楽しいひとときを過ごしました。普段なかなかお目にかかれない倫友や、素晴らしい来賓の方々が楽しそうにご歓談。知事、市長をはじめ来賓の皆さまも最後まで楽しんでおられ、五十嵐慶三朝礼委員長の軽妙な中締めでお開きに。素晴らしい記念日となりました。





山形が「日本創生」の先頭に立つよう！

平成23年9月7日、寒河江市ホテルシンフォニー本館において平成24年度山形県倫理法人会辞令交付式を行いました。厳肅な雰囲気の中、伊藤明彦副会長の開式の言葉に続き、国歌斉唱、役員辞令交付と続きました。

活動表彰では酒田市倫理法人会が昨年度の倫理経営講演会動員数全国第一位を獲得。その活動表彰を受けるとともに特別行動旗が手渡されました。おめでとうございます。



続いて平成24年度1000社倶楽部メンバー証を鈴木会長が授与。年度末の会員数が1459社となり、1000社倶楽部の資格要件を満たしたことから正式メンバーと



して認められました。倫理17000ライセンス認定証を秋山鉄工株式会社様が授与されました。これは秋山鉄工株式会社様が倫理法人会憲章の理念と活動指針に則った経営を行う

模範企業であることを証するものです。

鈴木会長は挨拶の中で、「平成24年度がスタートしました。今こそ日本創生を実現していく時であります。山形県倫理法人会が先頭に立って日本創生を成し遂げてまいります。未来の姿を思い描き、その未来を実現したいと思うとき希望が生まれます。希望の実現のために数字の目標を持つとき、私たちに勇気が生まれます。ですから、希望は人から与えられるものではなく、私たち自身が創っていくものだと思います。朝は生きる喜びに満ち溢れた黄金の時間です。ですから、私たちは朝、希望を創りましょう。そして、この山形県から日本創生の仕事を始めようではありませんか。私たちの日本創生の仕事は人々の希

望になるのだと思います。このような志をにかけて、私たち山形県倫理法人会は平成24年度普及拡大目標を1600社とし、平成24年8月3日達成をお誓い申し上げます。この目標に向かって皆さん一緒に頑張りましょう」と力強く宣言されました。

それを受けて設立前の山形市中央を除く11単会が決意を表明し、その決意書を鈴木会長にお渡しいたしました。

北海道・東北方面荒木良仁方面長は、激励の言葉の中で「あの東日本大震災以降、世界はかつて無いスピードで大きく変わらざるを得ない状況に追い込まれています。今まで創ってきた価値というものがどんどん崩壊していくような現象がこれからも起きてくるのではないかと予測しております。そうした変化をもたらしたものが自然です。ですから、倫理を研究し実践している私たちに一番

大事なことは、自然をどのようにつまえていくのかです。これが鍵になるのかもしれません」と道義国家としての日本創生と同時に、地球倫理の実践がとても重要なことだと詳しく述べられていました。



平成
24年度

山形県倫理法人会

役員紹介



会長
鈴木 隆一
(株)でん六



副会長
伊藤 明彦
(株)伊藤製作所



副会長
小島 勤
(株)小島洋酒店



副会長
菅原 勝安
(株)グローバルマシン



幹事長
晋道 純一
進和ラベル印刷(株)



事務長
天口 信裕
(株)アルファ・コム



朝礼委員長
五十嵐慶三
(株)竹原屋本店



研修副委員長
渡辺英一郎
(株)サンエー



MS委員長
加藤 眞佐夫
(株)加藤紙器



普及拡大委員長
桜井 仁
布施建設(株)

監査
武田 正男
(併)武田法律事務所

監査
川合 賢助
川合賢助税理士事務所

副事務長
鈴木 重幸
(株)鈴木製作所

副幹事長
市村 清勝
(株)市村工務店

名誉会長
本間 利雄
(株)本間利雄設計事務所



青年委員長
池田 知之
(有)サンジン



女性副委員長
菅野 美奈子
AISOHO企業組合



広報委員長
土屋 和浩
大場印刷(株)

相談役
中村 恒一
(株)マルナカ中村商店

相談役
近 清剛
(株)三奥屋

相談役
熊谷 眞一
(株)シベール

相談役
三浦 孝太郎
(株)三浦板金製作所

相談役
寺島 俊一郎
(株)丸俊



青年副委員長
寺島 俊一郎
(株)丸俊



女性委員長
菅野 美奈子
AISOH企業組合



広報副委員長
小関 利一
(株)サンノー企画印刷

朝礼副委員長
佐藤 宏
(株)山形チャレンジ工業

日程 平成23年
11月28日(月)~29日(火)

費用 15,000円

申込

お手元の案内にある記入欄にご記入の上、県合同事務局までFAXにてお申込みください。(先着35名でメ切)

見学先

(社)倫理研究所・倫理文化センター
武蔵野市倫理法人会MS
丸山敏雄創始者墓参(多摩霊園)
滝口長太郎墓参(船橋・馬込霊園)

平成24年度研修委員会の新事業として「丸山敏雄創始者墓参の旅」を企画、開催する運びとなりました。会員数も1500社を達成し、新たに会友となられた方も大勢いらっしゃいます。ここで今一度、倫理の原点、丸山敏雄創始者が倫理運動を始めた思いに触れるとともに、また(社)倫理研究所本部を訪問し、倫理運動、日本創生とは何か等、講義も受ける予定です。宿泊地のMSにも参加します。他都道府県、他単会の雰囲気味わい、多くの会友と出会い、仲間を増やし、友情の輪を広げる旅にもなります。

参加者
募集

丸山敏雄創始者墓参の旅

研修委員長 國分 浩実

庄内最上ブロック

酒田市倫理法人会

「深く倫理を学び、活力溢れる職場をつくろう」のスローガンのもと、多くの会員が参加できる場をつくり、地域に広く深く倫理が定着するようコツコツためになる会に。



会長 安藤 政則
副会長 木田 昭三
副会長 堀 豊明



専任幹事 山本 隆
事務長 佐藤 英夫

置賜ブロック

米沢市倫理法人会

会員事業所様から入会して良かったと思われ、更に活用し深めていこうという行動につなげていただきます。



会長 相田 晃輔
副会長 木村 健彦
副会長 石井 輝雄



専任幹事 宮下 徹
事務長 齋藤 喜一

鶴岡市倫理法人会

多くの人に倫理を学んで頂くために普及拡大と倫理の実践により誰もが明るく幸せに暮らせる地域に。



会長 伊藤 みよ子
副会長 栗本 正幸
副会長 三浦 忍



専任幹事 尾形 昌彦
事務長 佐藤 正晴

長井市倫理法人会

倫理の学習と実践の場を提供し、明朗・愛和・喜働の実践により躍動する職場づくりを推進し、地域に倫理活動を定着させます。



会長 原 行雄
副会長 加藤 眞佐夫
副会長 高石 一夫



専任幹事 那須 喜美子
事務長 青木 勝広

新庄最上倫理法人会

新設3年目。役員朝礼・MSの更なる充実と出席会員増に励み地域での存在価値を高め明朗・愛和な社会へ。



会長 鈴木 富士雄
副会長 上嶋 竜一
副会長 荒川 英利



専任幹事 田中 栄造
事務長 竹田 正弥

南陽市倫理法人会

役員朝礼や幹部研修の充実をはかり、活力あるMSに。



会長 和田 廣
副会長 高橋 良一
副会長 川井 正市



専任幹事 飯塚 一博
事務長 青木 勲

平成24年度

単会四役紹介

村山ブロック

山形市倫理法人会

「基本に忠実・活き活きセミナー・楽しく実践」をスローガンに、活き活きした、元気の良い、活気あふれる楽しいMSに。



会長
柴田 津與志



副会長
大風 茂吉



副会長
佐々木 吉嗣



専任幹事
佐藤 敬一



事務長
加藤 章

寒河江市倫理法人会

若手経営者の育成(富士研に参加)。過去に回った普及対象者のフォロー、MS参加。会員の他、入会予定者に対する呼びかけ。各委員会の活動と活性化(青年委員会の立ち上げ)を。



会長
岡崎 大造



副会長
杉沼 清二



副会長
多田 健一



専任幹事
小松 健一



事務長
板垣 和憲

上市市倫理法人会

役員朝礼の活性化を図り、更に充実したMSに。



会長
田島 誠一



副会長
堺 健一郎



専任幹事
谷江 正昭



事務長
荒井 幹雄

天童市倫理法人会

設立10周年の節目に相応しい明るく朗らかな喜働集団へ。



会長
水沢 正志



副会長
加賀 善雄



副会長
仲野 益美



副会長
山口 元



専任幹事
高橋 進一



事務長
柴田 和善

山形市蔵王倫理法人会

「明朗・愛和・喜働、そして感動を」を方針とし日本一質の高いセミナーを目指します。



会長
板垣 喜代志



副会長
中村 勝義



副会長
横澤 清治



専任幹事
金田 雄介



事務長
池田 隆

山形市中央倫理法人会

出合いに感謝、倫理に人に自然に本に。会員企業の繁栄と幸せを応援しよう。



会長
布施 富將



副会長
今田 早百合



副会長
新田 裕之



専任幹事
松田 浩



事務長
小松 幸弘

倫理経営企業の素顔

第4回

米沢市倫理法人会

株式会社エフ・シー・エス



米沢市倫理法人会の株式会社エフ・シー・エスを訪問いたしました。同社の腰越弘樹社長は法人レクチャラーを務められる一方、全国の倫理法人会にて講師として活躍されています。また、法人営業

部の宮下徹部長は米沢市倫理法人会の専任幹事として会の発展に無くてはならない存在です。腰越社長は無線事業、ドコモショップ運営、キャンペーンカー事業、ロードサービス事業、お客様のソリューションにあわせたシステムの構築、インフラ整備、OA機器のカスタマイズを行う法人営業部、飲食業では牛角の運営と多方面に事業を展開しております。

◆顧客満足を追求して工夫の連続

創業して31年になります。創業以来、お客様からどうしたら喜んで頂けるかをずっと追求しながらやってきました。それはサービスだけではなく環境面でも言えることで、例えば建物では完成したら見えなくなるような内装からこだわりました。そのため金銭的な負担は相当なもので一時的に収益減少という影響を受けますが、すぐに顧客満足と商売繁盛という形で会社に戻ってきました。その結果、商売繁盛を通して社員さんが幸せに安心して生活を送れるということにこだわることができ31年になりました。



倫理法人会へ

の入会は、12年前の米沢会立ち上げ時です。取引先銀行の支店長さん(当時)から誘いを受けて出席したのがきっかけでした。会は、自分がそれまでに感じたこともない独特の雰囲気

気の中で行われていました。ですが、すぐ講話の内容に集中してしまいました。倫理にはいろんな学びがあると思うのですが、実際に会社でも「活力朝礼」という形で導入しています。社内の全店舗で「職場の教養」を活用し、毎朝姿勢を正して声を出すという基本を大切にして、社員さんと一緒に一日をスタートしています。声を出すということ一つ見ても、効果があると思います。「活力朝礼」を始めた当初、女性社員が多いのもあり恥ずかしさが先に立ち声が出ませんでした。ですが、自然と回を重ねるごとに現在の元気のある朝礼を行うことができました。

◆商売繁盛のためのエッセンス

上手く取り入れている例を参考にして、当社でも気学や統計学を活用しています。実際に、導入した店舗には多くのお客様にお越しいただくようになりました。他にも商売繁盛とされる玄関の向きや室内装飾物の配置では、店内を居心地の良い環境にするべく観葉植物の葉を丸みのあるものにするとか、柱の角をなくして優しい室内を心がけたりという部分にも取り組んでいます。色々な話を伺う機会があり、社名の画数にも意味があることを知りました。今から数年前、当時の社名「北日本無線」について画数を調べてもらったところ商売繁盛の画数だと知りましたが、大きく成長し商売



繁盛につながるとされる15画の「エフ・シー・エス」という現在の社名に変更しました。「エフ・シー・エス」は、ファイネスト・コミュニケーション・サービスを英字表記した際の頭文字で、直訳すると最高の顧客満足を提供しますとなります。社名を変更するこの頃まで気にしていなかった店舗名も、移転などのタイミングで最高の画数である店舗へと少しずつ名称を変更してきました。余談ですが、私の名前は親から付けてもらいましたが、大器晩成型の運の強い名前だと鑑定していただきました。縁起を担ぐという意味合いもありますが、運氣が強くなりお客様に感動していただける店舗作りが良いのであれば、これからもどんどん取り入れていきたいですね。

◆キャンピングカーからロードサービスへ

私がある時、キャンピングカーの中古車購入後に色々な方との交流が広がったことが縁で、キャンピングカー事業を始めました。当時、特殊な車両で右も左も分かりませんでしたので社員さんと一緒に必死に勉強しました。キャンピングカー事業を始めてしばらくした頃、県外ナンバーの大きなキャンピングカーのお客様から山の頂上で立ち往生して困っていると直接連絡をくださり当社で対応したことがあります。この出来事がきっかけの一つになり、新しくロードサービス事業を始めました。警察署や保険会社から連絡が入れば、天候や時間に関係なく24時間365日出動します。このロードサービス事業では、私は社長から隊

長となります。隊員と共に出動し、お客様と隊員の安全を第一に、お客様の大切なお車を丁寧に取り扱うことをモットーに作業を行っています。現場では、隊員の集中が切れないように隊長の私はインカムで注意をはらいながら指示を出して作業を進めます。お客様や代理店の方が、現場で自分たちの作業を見る場面も多く、作業内容に満足していただけると嬉しいですし次の現場でまた頑張れますね。

◆研修室での朝礼

始業の30分前、広々として清潔で明るい研修室に社員さんが入場。「気をつけ！右ならえ！直れ！」の号令とともに朝礼がスタートしました。朝の挨拶では次



頁の写真にある注意事項2項目と経営理念を斉唱。社員さんの出欠状況や来社予定のお客様情報を連絡事項として情報を共有した後、職場の教養の輪読と感想、今日の心がけの斉唱と続きます。お客様をお迎える練習というところで、声だし挨拶直後に「1・2・3・4」と進行係が数えてお辞儀のタイミングを揃えています。そして「ハイ」の練習、声だし斉唱。最後にトイレ掃除



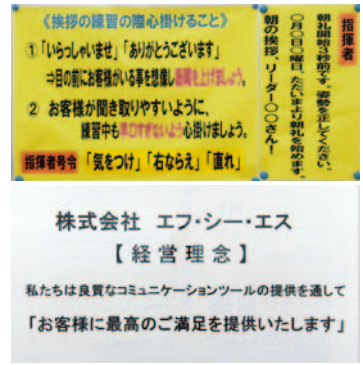
当番の方に掃除の完了確認、携帯電話の使用時間の確認、喫煙時間・場所の確認をして解散となりました。最初から最後まで明るく元気で、全員がキビキビとしているスピーディーな朝礼でした。朝礼は当社の全店舗で9時30分から行っています。本社には近くの店舗から毎日交代で数名が参加して一緒に朝礼を行っています。

朝礼のアレンジとしては、朝礼開始の合図として館内一斉自動放送後「気をつけ！右ならえ！直れ！」の号令でドラダラしがちな朝礼開始がピシツとなり、五日市剛さんの書籍を参考に「ついでます、ついでます」と20回声出ししています。朝礼のリーダーになった人は、勢揃いした社員さんを前に緊張して顔が強ばってしまいがちですが、目の前のお客様を想像し笑顔をやささず口調が早口にならないように挨拶するよう心がけています。実際には、お客様が来店されるとニコニコして「いらっしゃいませ」と言いますよね。いつでもどこでも対応できるよう朝礼で練習を行っています。

◆研修室での感動の新人社員研修

年1回4月(今年は震災の影響で5月)に開催する研修は、





春入社の新入社員
の他に前年の研修
後から入社した中
途採用の社員さん
も参加して行いま
す。私が講師となっ
て3日間の研修を
16年続けています。

研修と言っても体育会系の厳しいものではなく、
具体例を出しながら人生や職場について教えてい
ます。また挨拶の仕方、コーヒーやお茶の出し方、
名刺交換など配属先に戻ったらすぐに実践となる
ような実務も一通り行います。この研修後、研修
生は皆それまでの学生から、社会人の顔つきに変
わります。自分自身で考えて社会人としての自立
ができるようになります。もし研修をしていない
と、学生気分が抜けず家族や自分への甘えが出て、
結果的にお客様にご迷惑をお掛けするような事態
が起きるでしょう。今年の研修で、服装や髪型が
まだ学生気分のままの研修生がいました。帰宅後、
開店している床屋がない彼は、親に頼みました。親
御さんは「いいよ、切ってあげるよ」と快く引き受け
てくれたので、その言葉を聞いた彼は涙を流しなが
ら髪を切ってもらったそうです。彼は、諦めずに
できる方法を彼自身で見つけたのと、親とのコミュ
ニケーションという大切な体験をして2日目を迎
えていました。ただ頭ごなしに躓けるといふこと
ではなく、自己の気づきによって社会人としての
心構えが芽生えた事に立ち会えた瞬間でした。

例年、研修生は3日目の研修終了間近には感動で
涙を流しています。実際に、終了直後の記念写真を
見ると皆の顔が涙でぐちゃぐちゃです。極度の緊張
から始まる3日間の研修は、研修生にとってはとて
も長い時間です。研修が終了し安堵と共に感動が溢
れるようです。実は、前年研修した社員さんの中か
ら数名、アシスタントとして研修に参加してもらっ
ています。自分たちの一年前を思い出しながら懸命
に研修生をサポートしていくわけですが、研修生は
そんなアシスタントの姿に憧れるようです。アシス
タントといっても、たった1年だけ新入社員より入
社が早いだけなのですが、配属先に戻ると、研修前
とは比較にならないような団結ができていて、私も
彼らを頼もしく思っています。

◆研修室で南相馬の被災者を支援

南相馬市の原発から30km圏内に、当社で運営
しているドコモショップがあり現在まで業務停止
していましたが、ようやく営業再開の目処が立ち
ました。3月の震災直後、行くあてに困ったその
店舗の社員さんが家族と共に避難してきました。
会社近くの市営体育館は満杯で受入停止という状
態でしたので、毎朝朝礼を行っている研修室を解
放し、そこで計21名の方が約1ヶ月間生活されま
した。当時、震災直後の停電や余震で全店舗が通
常営業できない状況の中、本社の社員が団結して
市内を駆け回り食材や生活用品の確保、研修室で
使用するアルミロールマットの確保などを行いま
した。また、取引先の方に無理を承知でガスボン

べの設置や研修室の唯一の暖房機を稼動するため
の灯油を、お願いしたりしました。中には何も言
わずセーターや防寒具、甘いお菓子などを研修室
で不自由な生活を送る同僚に差し入れる社員さ
んも出てきて、私は自分の会社の社員さんを大変
誇りに思いました。実は、今の本社を竣工する際
に当時の監査役から「社長というのは24時間、仕事
をしなければならぬ。だから泊まれる環境を」と
助言頂き、お風呂を併設していました。ほとんど
使うことはありませんでしたが、避難生活中は21
人が代わる代わる利用したばかりか、皆さんから
大絶賛頂きましたので私としても嬉しかったです。

◆ロードサービスで被災地支援

ロードサービス事業では、宮城県南松島方面の
被災地にレッカー協会からの依頼を受けてボラン
ティア活動に参加しました。ボランティア活動と
いうのは、自分たちの衣食住も確保して現地入り
するのが基本という教えを受けて、当社はキャン
ピングカーも現地入りしました。毎日食事はレト
ルトで入浴もできない状況でしたが、温かい布団
で体を伸ばして眠りにつけるありがたみをこの時
感じました。

当社の事業は一見すると全く異なる業種ですが、
事業同士は全て技術や営業力でつながっています。
その全事業において言えることですが、現状に満
足せず先を見据えて行動していくことが会社の繁
栄、すなわち社員さんの豊かな生活につながるこ
とを忘れてはいけませんね。

単会トピックス

山形市で新しい「倫理の風」誕生

山形市中央倫理法人会 設立式典

平成23年9月28日、山形国際ホテルにて山形市内で3番目の単会となる「山形市中央倫理法人会」の設立式典が約140名のご出席をいただき盛大に開催されました。松田浩専任幹事からの経過報告に続き、倫理研究所理事の内田文朗法人局普及事業部長より布施富将山形市中央倫理法人会会長に認可証を授与、また新役員にも辞令が交付され正式に「山形市中央倫理法人会」が誕生いたしました。

倫理研究所の荒木良仁北海道・東北方面長の「今日がスタートです。ここ山形から日本創生の新しい動きが始まる日です。純粹倫理を学び、多くの人に伝えていってほしい。」と



いう式辞に続き、鈴木隆一山形県倫理法人会会長が「東北の新たな希望の象徴となるよう目標と勇気を持った活動を行っていきましょう」とあいさつ。ご来賓の市川昭男山形市長の祝辞では



「山形市の永続的發展には、倫理法人会の活動が無くてはならない」と述べられました。この数々の期待に布施富将会長が「会員ひとり一人が心を合わせ、地域の発展と幸せのため一丸となって活動してまいります。」と決意を述べ閉式いたしました。

第二部の設立記念講演会では、内田文朗倫理研究所理事より「目標は高く、実践は足下から」のテーマで「目的を明確にし、それに向けた目標は高く具体的に『何のために』を認識しながら繰り返し実践することが大切である。」とご講演いただきました。

プレモーニングセミナー

山形市中央倫理法人会の設立に先立ち、入会予定社にも広くお声がけし、その良さを実感していただくという趣旨で、9月1日(木)より4回のプレモーニングセミナーを開催。倫理法人会の活動の基本は実践にあります。週1回のモーニングセミナーへの出席がその第一歩であり、最も大事な実践でもあります。

一、朝起き、早起きの習慣が身につく

二、朝の張り詰めた空気の中での良い気づきがある

三、純粹(すなお)な気持ちになれる
四、良い出会いに恵まれる(人、言葉、自然)
五、多彩な講話を聴くことができる
このようなプラスの効果を生み出す元気なモーニングセミナーに、より多くの皆様に出席いただければと思います。プレモーニングセミナー全4回の出席数の累計は、145社・159名でした。ありがとうございました。

記念すべき第一回モーニングセミナー

9月29日(木)に開催された、記念すべき第一回モーニングセミナーは、前日の設立記念講演会に引き続き、倫理研究所理事の内田文朗法人局普及事業部長に「一貫不怠」と題しお話をいただきました。(39社45名のご出席)

目的・目標に向け実践するエネルギーは、その意味を理解した決意・決心といった本気度と、決断の「断」にあるように目的のために何かを断つ、捨てるのがパワーとなる。また、同じ事を毎日1



回、3ヶ月続けられれば習慣になり、30年続ければ伝統になる。終始一貫の大切さを、生まれたばかりの「山形市中央倫理法人会」にお教えいただきました。



天童市倫理法人会

会長 水沢 正志

天童市倫理法人会 新会員歓迎会

「夏蕎麦（新そば）を楽しむ会」

9月24日（土）夕方より、天童市倫理法人会の新会員歓迎会「夏蕎麦（新そば）を楽しむ会」を柴田和善事務長のご協力のもと「山形ムツ電」さんシヨールームにて開催させていただきました。

そば打ちの先生をお招きし、手打ちそば、手打ちうどんはもちろん、そばに紅花やコーヒーを練りこんだ変わりそばまで作って全員でご馳走になりました。 vari ダネにビックリしたのと同時に会場は「おいしい!!」の連発でした。会では全員でそば切りにも挑戦。簡単ながらも難しいそば切り、太さはマチマチになったりしましたが、自分で切ったおそばの味は格別でした。



終始、笑いの絶えない和気藹々とした会となり、今年度の天童市倫理法人会が目指します「天童らしく楽しく実践」につなげる事が出来ました。今後も親睦を深めながら「天童らしさ」や「楽しさ」を意識して活動を進めていきたいと思えます。



上山市倫理法人会

会長 田島 誠一



リーマンショックの影響か、震災の影響か、仕事が思うように進みません。なのに何故か忙しい気持ちで毎日続きます。忙しいという言葉は、心を無くすという意味なのだそうです。心を無くした仕事を自分がしていることをモーニングセミナーで気づかされます。が、仕事を始めると、突如の来客や立て続けに来る電話にイライラしてしまいます。自分がこんな思いで仕事をしているのだから、みんな一緒だと思い、すべての行動が後手に回ります。上山市倫理法人会は、今年6年目を迎えます。中だるみがあったりもしかないという思いが自分にはありません。役員懇親会で、行動が遅いことと、電

話を一本の声かけが、もっとあってもいいのではといった前向きな酒飲み話が役員の皆さんから出てきました。面倒くさいと思っっているのは自分だけでした。仕事も同じだと思いたした。



山形市倫理法人会

広報委員長 岩見 信弘

10月4日（火）、ホテルメトロポリタンにおいて、山形新聞社の黒澤洋介社長を講話者にお迎えして、100人モーニングセミナーを開催いたしました。当初、思うように集客が伸びず、本当に100人集まるのか心配しましたが最終的に137名の方にご参加頂きました。

黒澤社長は、駆け出し時代のエピソードを交え、新聞記者に必要な資質はなにか？それは「世の中に対する疑問と不正に対する怒り」であり、その根底にあるのは好奇心であると述べられました。社長になって5年、女房には「貴方は社員の小間使い。社員のためだけに働きなさい」と言われ、その通りだと思っっている。そして「社長の仕事とは次の社長を育てる事」だと結ばれました。お陰さまで目標を大きく上回る方にご参加いただき、新年度に向けて価値ある一歩を踏み出すことができました。心より御礼を申し上げます。

倫理を学んで



寒河江市倫理法人会
専任幹事 小松 健一

朝晩めっきり寒くなり、床を抜け出すのが億劫な季節となりました。今年度より専任幹事の大役を仰せつかりました小松です。「おはようございます」と大きな声が響き力強く挨拶する役員朝礼、そして同じく参加者を迎えるモーニングセミナー。私はこの「挨拶」がちゃんと出来る人が少ない様に感じます。ただおはようと言うことではなく、相手と正面を向いて頭を下げて心の籠もった挨拶をする。そうすれば自然と親しみやすい態度になるはず。又「返事」も大きな声で「ハイ」と返事出来れば、お互い清々しい気持ちになれます。そして「後始末」。この後始末がきちんと出来れば全て良しと評価できるのではないのでしょうか。会社内でも「挨拶・返事・後始末」を重点的に実践しております。倫理を素直な心で一つ一つ実践しながら、自分から変わって行く様に努めて参ります。



長井市倫理法人会
研修副委員長 岡崎 悟司

私がモーニングセミナーに継続的に参加することになった切っ掛けは、長井市倫理法人会の原会長に頂いた言葉があったからです。「三か月継続できれば習慣化できますよ」。今までは、朝も満足に起きることが出来ず、三日坊主や一日坊主なんて当たり前のような生活を送っていた私ですが、倫理法人会と出会ってからは、その生活が激変したと感じております。朝起きが出来なかった私が、毎朝きちんと起きることが出来るようになり、モーニングセミナーには欠席無しで1年半通うことが出来ました。何よりも、「継続して出来ること」の喜びを与えて頂きました。原会長、そして倫理法人会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。



南陽市倫理法人会 島貫 三男

当会のMS会場は、宮内の熊野大社證誠殿で行います。建物のちょうど前に樹齢が推定約八百年の大杏の木があり、毎週行く度に葉の色が変化して行くのを見て、季節を感じ、又犬を散歩させている人や、交通安全の指導員の方に大きな声で「おはようございます」と早起のすがすがしさを交し合います。「早起は三文の徳」とか「朝の五分は日中の三十分を価値する」などと、朝のスタートがその日一日を充実させるのうちに大事か、又その毎日の積み重ねが一ヶ月であり一年でもあり人間の一生である。

人は自分の置かれた立場からしか物事を見ることはなかなか出来ないものである。そんな中でMSに参加すれば多種多様な講師の方々の話を聞くことが出来る。話の内容に共鳴し実行したこともあり、自分を磨き大きくしてくれる。せっかくい話を聞かせていただいたのだからと思い、食事をして時家族に話したり、職場で休憩の時に従業員の友達に話す。「日本創生」、微力ながらも私もその一翼を担いたいと思っております。



新庄最上倫理法人会
広報副委員長 中鉢 義邦

私は、幸せ者です。倫理を学び早や二ヶ月。まだまだ、学んではいるものの、実践ができていないかと自分に問うてみても、未熟さが先に立ちます。MSに参加させていただき、県内外の講師の方々より、貴重な講話を拝聴する機会をいただけたのが、本当にありがたいです。

しかし、入会する前は、鈴木会長の火の玉のような熱い想いの勧誘を受けたこと。また、入会を決める前から、役員でやったほうが良いと言われるときには面食りました。

今は、入会にあたってご縁をいただいた先輩方には、感謝でいっぱいです。今後益々、学びと実践に精進し朝の達人を目指します。やっぱり、私は、倫理を学んで幸せです。

倫理活動員数日本一の証

倫理研究所より特別行動旗を授与



酒田市倫理法人会

会長 安藤 政則



特別行動旗を頂きました。去る6月28日、23年度倫理経営講演会に於いて動員数1080名という全国第一位の栄誉を頂きました。9月7日の新年度辞令交付式でのサプライズでした。まさかその様な制度があることも知らず全くの驚きでした。23年度が始まるとまもなく庄内にまだ理事長がお見えになったことはない、一度はお招きしたいものだ、多くの会員企業の方々、そして多くの地域の方々に丸山敏秋理事長のお話を聞いて頂き、又じかに触れていたただく機会が是非とも欲しいとの機運が高まり実現いたしました。日本が壊れかけていると、理事長は申されていましたが、違った意味で其の事が3月11日金曜日14時46分に起きてしまいました。その後は皆様ご存知の通りです。被災された方々の助け合い、全国からのボランティアの方々、自衛隊、警察、などほんとうに多くの方々の心が一つになりました。中でも、「1千年の兵を養うは一日の為」という言葉が大きく重くずしつと響きました。多くの倫理の方々力を頂いて実現した栄誉です。誠に有難う御座いました。

●倫理ライセンス

「倫理17000」認証



秋山鉄工(株)

鶴岡市相談役 秋山 周三



ご推薦いただき、厳しい審査をくぐり抜けて、何とか認証いただきました。私どもがこうなったのは、タマがなくなってきた、と理解すべきでしょうか？ということ、どちらの会社でも認証を受けられる可能性が高まったこととなります。これはチャンスです。皆様、どんどん応募してみましょ。認定料として10万円もらえる、のではなく、お支払いしました。認定証はA4版の大きな領収書でもあります。先々、倫理研究所から月17,000円の年金が支給される・・・といいですね。

それはそうと、ずっと草刈りにハマっています。去年の春からです。今年の春、自社敷地の一回目の草刈りを終えて、道路側の歩道から眺めていました。満足感タップリに眺めていました。そのときハタと気がつきました。「自分とこだけキレイでも景観にはならないんだ」と。それから五ヶ月。鶴岡中央工業団地(約10万坪)全体から見苦しい草が消えた！勿論、私一人ではなく、周りの人たちや各会社も動き出してくれたから出来たこと。全国の工業団地で「ゴミ・草の少なさ 日本一」になりました。更に継続、進化します。どうやら、草取り・草刈り・ゴミ拾いをすると認定を受けられるようです。

編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長 土屋 和浩

純粋倫理、気学、風水学はどれもが学術的には研究対象になりにくく因果関係を証明しがたいものですが、正しく学んでよく知っており、楽しく実践すれば「不思議な力の働き」により何故かきちんと素晴らしい結果が出てくるようです。それぞれ学ぶ内容は違いますが、共通する実践のポイントとして、お客様や社員さんがどうしたら自然の理に叶った嬉しい気持ちになっていただけののかを第一に、人の働きや店内環境などあらゆる面で、知恵を出し工夫をすることが大切だということに気づかされました。エフ・シー・エス様のように不思議の力の働きを企業に取り入れ、細やかな気配り、工夫の妙を活かし、かつ又生かされるようになりたいものです。



URL
<http://www.yamagata-rinri.net/m/>